

小幡雅二教授略歴 (2012年3月末現在)

1947年 (昭和22年) 6月4日	東京都に生まれる
1966年 (昭和41年) 3月	都立両国高等学校卒業
1966年 (昭和41年) 4月	中央大学法学部法律学科入学
1970年 (昭和45年) 3月	同卒業
1970年 (昭和45年) 9月	司法試験合格
1973年 (昭和48年) 3月	司法修習修了
1973年 (昭和48年) 4月	東京地方検察庁検事
1974年 (昭和49年) 4月	長崎地方検察庁佐世保支部検事
1976年 (昭和51年) 4月	福岡地方検察庁検事
1978年 (昭和53年) 4月	大阪地方検察庁検事
1978年 (昭和54年) 3月	検事辞職
1979年 (昭和54年) 6月	東京弁護士会に弁護士登録
1983年 (昭和58年) 5月	小幡雅二法律事務所設立 (現在に至る)
2005年 (平成17年) 4月	筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授

その他

1992年 (平成4年) 4月	東京簡易裁判所調停委員 (2002年3月まで)
1996年 (平成8年) 4月	司法研修所刑事弁護教官 (1999年3月まで)
2003年 (平成15年) 7月	江東区公害健康被害認定審査会委員
2004年 (平成16年) 6月	キョーリン製薬ホールディングス(株)社外監査役
2006年 (平成18年7月)	人権擁護委員

小幡雅二教授研究業績（2012年3月末現在）

・著書・編書については『』、論文・講演録などについては「」で表記した。

I. 著書

【単著】

経営刑事法研究会編『企業活動と経済犯罪』（民事法研究会、1998年）

経営刑事法研究会編『書式 告訴・告発の実務』（民事法研究会、2000年）

山室恵編『刑事尋問技術』（ぎょうせい、2000年）

司法研修所『刑事弁護実務（平成14年版）』（司法研修所、2001年）

三井誠、馬場義宣、佐藤博史、植村立郎編『新刑事手続』（悠々社、2002年）

吉原省三監修『ガイドブック弁護士報酬』（商事法務、2005年）

II. 論文

「公判における弁護人の役割」現代刑事法58号（2004年）

「刑事訴訟法321条1項2号前段に関する最高裁判決と弁護活動」法学新報112巻1・2号渥美東洋先生退職記念論文集（2005年）

「自白の証拠能力判断の簡明化に関する試論」融合する法律学（筑波大学法科大学院創設記念）（2006年）

「裁判員裁判に残された課題—2号書面問題を中心に—」筑波ロージャーナル5号（2009年）

III. その他

「なぜ、こんなことを」刑事弁護ものがたり（1992年）

「人権問題としてのセクシャル・ハラスメント」地方自治職員研修379号（1995年）

「被告人と弁護人の感情的対立のなかで」 弁護始末記（1996年）

実務業績

I. 検察官

松浦市における義姉および子ども2名の殺人事件（1974年）

元病院長夫人による多額詐欺事件（1975年）

親和銀行の集金員による多数回にわたる詐欺事件（1975年）

山口組系暴力団組長による暴力行為等処罰に関する法律違反事件（1976年）

その他、財政経済関係の犯罪の捜査、公判事件の立会を担当した。

II. 弁護士

東久留米市議会議員選挙に関連した公職選挙法違反等被告控訴事件において
量刑不当を理由に原判決が破棄された事件（1980年）

解体業者による談合被告事件（1982年）

アリバイを主張した特殊な詐欺被告事件（1983年）

有名漫画家による大麻取締法違反被告事件（1985年）

大麻の譲渡につき無罪が言渡された大麻取締法違反被告事件（1987年）

財団法人専務理事による詐欺被告控訴事件（2002年）

保護観察処分になった少年による集団暴行事件（2003年）

道路公団副総裁による独占禁止法違反被告事件（2005～2008年）

責任能力が否定されて不起訴になったストーカー規制法違反事件（2010年）

その他、当番弁護士活動も行い、多種多様の私選弁護、国選弁護事件を担当した。